いながわ特派員報告

鎌屋 郁子

本田 さとみ

絵本の世界をひらいてみましょう

「絵本」という言葉には、人を優しい気持ちにさせる、温かく懐かしい響きがあります。猪名川町には、その絵本や児童文学を紹介し、共に親しんでいくことで、子ども達に豊かな心と夢を持ってもらいたいと活動している、登録ボランティアグループ『ゆめっこ』『ぐるんぱ』があります。その活動を通して子どものみならず、大人にも楽しめる絵本の世界をご案内します。

「次はどうなるのかな？」みんな絵本が大好き（町立図書館にて）

ボランティアグループ　～ゆめっこ～

ゆめっこの活動

今年で8年目を迎えるボランティアグループ「ゆめっこ」は、読み聞かせ、人形劇、影絵、ストーリーテリング、紙芝居などの7つのグループで構成されています。メンバーは50人で、町立図書館や町内の幼稚園、小学校で積極的に活動しています。それ以外にも、各グループは月1回の定例会で反省や勉強会などを行い、より質の高い活動を目指しています。また「ゆめっこ」は子どもの読書活動優秀実践団体として、今年度の文部科学大臣表彰を受賞しています。

「ゆめっこ」の代表、小川淑子さんは、「私達の活動に触れて、子ども達が楽しいと感じ、それが本への興味につながるきっかけになってくれればと願っています。絵本の世界は想像力なしでは入れません。本に親しむことで養われる想像力は、人として生きていくうえでとても大切なことだと思います。」と話してくださいました。

人形劇「赤ずきんちゃん」を楽しむ子ども達

心が温かくなりました

町内にはゆめっこの活動を心待ちにし、読み手と一緒に絵本を楽しんでいる子ども達、お母さん達がたくさんいます。グループの活動は確実に定着していっているようです。私達も絵本読み聞かせ会に参加して、心が温かくなるような心地良さを感じました。

忙しい日常の中で絵本の中の美しい言葉、美しい絵に触れるひと時は大人にとっても子どもにとっても、贅沢な時間ではないでしょうか。

読み聞かせの持つ力

子ども達は、小学校へ入るとだんだん大人に本を読んでもらう機会が減ります。文字を追うのに精一杯の子ども達は物語を読み込んで感動するまでに至りません。その結果小学3、4年生頃に本離れしてしまう子が多いようです。誰かに読み聞かせをしてもらうことで、絵本の世界に入り込み、悲しい話に涙したり、楽しいことに笑ったりという豊かな感情が育つのだと思います。

▲９月13日、松尾台小学校図書室で、20分間の休憩時間を利用して「ゆめっこ」の絵本の読み聞かせ会が行われました。休みを告げるチャイムとともに、子ども達が次々と集まり、図書室は超満員。150人近くの子ども達が絵本を楽しみました。

大人も楽しめる絵本

絵本というと小さい子のために作られたものだと思われがちですが、決してそうではありません。町立図書館では、8月に小学校高学年から大人のために「夏の夜のおはなし会」が開かれました。そこでは、物語を覚えて、本を持たずに語るストーリーテリングが行われ、参加者は熱心に、話しに耳を傾けていました。

町立図書館司書、西晶子さんから、大人も楽しめる絵本『たなばた』君島久子 再話、初山滋 画（福音館書店）を紹介していただきました。この本は、経験を積んだ大人だからこそわかる切ない民話だそうです。ぜひ一度読んでみてはいかがでしょうか。

「たなばた」より

～ぐるんぱの活動～

今月で発足から５年になる「ぐるんぱ」。メンバーは15人です。町立図書館で毎週木曜日（休館日を除く）、幼児向けの読み聞かせ会「絵本の時間」を開催するほか、子育てサークルでも活動しています。

９月12日、図書館での読み聞かせ会では、クマの指人形を使ったあいさつから始まり、読み手は子ども達が集中したところで絵本の世界にいざないます。絵本は子ども達の年齢に応じて選ばれます。この日は30人以上の幼児が集まり、最後までお話を聞いていました。

子ども達の心の動きを体感し、そのきれいな瞳に出会いたくて読み聞かせを続けているという「ぐるんぱ」の皆さん。「絵本は子どもが最初にふれる芸術作品です」と言われた言葉が印象的でした。

岩崎　真美さん
桃子ちゃん（若葉）

「今日で２回目の参加です。家族以外の人の話を聞くことで、子どもの集中力がつくように思います」

編集後記

自分の子どもがまだ幼かった頃、よく読み聞かせをしたものです。同じ本を何度も「読んで」とせがまれました。同じところで同じように反応する子どもを面白いなと思っていたのですが、次第に自分も絵本に引き込まれ、子どもと絵本の世界を楽しみました。とても楽しかった忘れられない思い出です。

最近は子どもの成長とともに親子とも絵本を読む機会が減ってしまいましたが、子どものためだけでなく、自分自身のためにも、また絵本を手にとってみようと思います。

【いながわ特派員】